

カリキュラム

コースコード：26-404

中小企業大学校 九州校

タイトル	【財務支援基礎】小規模事業支援に必要な財務の基礎知識				
サブタイトル	図解と事例を通じて、財務の基本と考え方を学ぶ				
研修のねらい	小規模事業者にとって、経営に関する日々の悩みを相談できる支援者は心強い存在です。経営の悪化を招かないために、支援者には日頃からアンテナを張り、些細な悩みであっても経営者に寄り添う姿勢が求められます。 本研修では、経営者からの日々の相談においてニーズが高い資金繰り相談への対応を含め、事業者の将来の安定と繁栄を支える実践的で基本的なスキルを修得します。				
日程	2026年10月26日（月）～10月28日（水）	日数	3日	時間数	18時間
対象者	①中小企業支援担当者並びに 中小企業支援協力機関の役員及び職員 (中堅担当者または職務経験5年程度以上の方) ②認定支援機関	定員	20名	受講料	23,000円
		会場	中小企業大学校 九州校（福岡県福岡市博多区綱場町2番1号）		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
10/26 (月)	9:50～10:00	開講式	オリエンテーション	長尾公認会計士事務所 代表・公認会計士 長尾 義敦
	10:00～12:30	個人事業主と法人 それぞれの財務の基礎知識	個人事業主と法人を比較しながら、小規模事業支援における特徴を学びます。 ・損益構造と税金等負担の仕組み ・所得税と法人税 ・消費税の基礎知識	
	13:30～17:00		【ミニ演習】税金と資金繰りの影響	
10/27 (火)	10:00～12:30	小規模事業支援における 資金調達と資金繰り	小規模事業支援における運転資金と設備資金を理解します。 ・財務状況に応じた資金調達と資金繰り ・新規取得資産の固定資産税を簡易的に予測する方法 ・リース契約の仕組みとデメリット ・借入金返済計画の再検討が避けられない場合	
	13:30～17:00		【演習】資金繰り表作成と分析（PC使用） ケース教材を用いて、資金繰り表の作成を行います。 資金繰り予想から課題の抽出、改善策についての考え方も修得します。 ・資金繰りから考える経営改善策の検討 ・補助金活用時における資金繰りの注意点	
10/28 (水)	10:00～12:30	伴走型支援で着目すべき 事業承継支援	事業継続を目指すうえで、将来どのような影響や問題があるかを理解し、事業者全体を様々な視点から考察する力を養います。 ・相続・贈与に関する基礎知識 ・小規模事業者特有の問題例（会社財産と個人財産） ・生命保険の考え方と実務的知識 ・法人における実務上の留意点（経営者保証、株式、定款等） ・個人事業主における実務上の留意点（手続例）	
	13:30～17:00			
	17:00～17:10	終講式		

講師紹介

氏名	略歴
長尾 義敦 (ながお よしあつ) 長尾公認会計士事務所 代表・公認会計士	平成14年に公認会計士試験合格後、朝日監査法人（現 あずさ監査法人）に約11年間勤務し、主として、事業再生支援、M&A支援、法定監査、外部・内部研修講師等の業務を行う。平成26年 長尾公認会計士事務所として独立。主な業務内容・実績：事業再生、経営改善計画策定支援（事業DD、財務DD、計画策定、事業価値算定、金融機関調整、モニタリング）、債権管理、在庫管理、資金管理改善支援、M&A支援（スキームアドバイス、財務DD、株式価値算定）、研修講師（経営改善計画策定支援研修、各地認定支援機関向け講習会等）

備考

※中小企業診断士資格更新研修 理論1回
 ※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。
 ※お昼休みは12:30～13:30を予定しておりますが、予告もなく変更する可能性があります。ご了承ください。